

# 学校読書活動の取組【伊根町立伊根中学校】

## 1 実践テーマ

「読書活動をとおして、豊かな心を育てる  
～読書センターとしての学校図書館の充実を図る～」



## 2 学校の概況や生徒の様子

京都府北部、丹後半島の北端に位置する伊根町は、美しい海岸線のわずかな平地に漁業集落があり、府下有数の漁業の町を形成している。船の収納庫の上に住居を備えた「舟屋」は、しばしばメディアで紹介されている。



また、「舟屋」の景観の他にも「浦島太郎伝説」、「徐福伝説」、民俗芸能、衣食住にかかわる有形・無形の文化財などが多く残されている。しかし、その一方で、人口の減少や少子高齢化など、大きな課題にも直面している。

平成26年度に本庄中学校と伊根中学校が統合し、景観や環境に配慮し、木材を多用した新校舎が建築された。恵まれた環境の中、生徒は学習や部活動、学校行事に熱心に取り組み、落ち着いた学校生活を送っている。

全校生徒21名は何事にも真面目に努力することができ、地域全体で支えられ、大切にされている。

また、地域の特性を生かした教育活動の充実に努め、地域に開かれた学校づくりを推進する。という学校目標のもと、ふるさと学（伊根学）等、様々な教育活動に地域とともに取り組んでいる。平成28・29年度は文部科学省の指定を受け、コミュニティ・スクール（C・S）導入等促進事業の推進に向け研究を進め、平成30年度には全国へき地教育研究大会京都大会において研究発表を行った。地域の力を活かし総合的な学習の時間を整理・発展させ、地域の魅力や可能性に気づき、わが町を誇りに思える生徒の育成に取り組んでいる。

## 3 実践内容

### (1) 学校図書館運営の企画・立案

#### ア 図書の廃棄・更新によるレイアウトの工夫

学校統合に伴い、蔵書数は増えたが、台帳の整理・統合、十進法による分類が進んでいなかったため、平成27年度より、大規模な図書の廃棄を行い、蔵書の管理、利用しやすい配架の工夫を進めている。

教科に関する本は隣接する第2図書室へ

わかりやすいテーマのプレート



専門的な分野の蔵書が少ないため、府立図書館「学校セット貸出」を利用し、授業で活用



#### イ 掲示物や催しの工夫

読書センターとしての機能を充実させ、来館、利用、読書活動の促進に努めた。年間を通して図書委員会の活動の一環として季節や取組等によって掲示物を変えている。

また、図書室だけではなく、廊下等にも図書の展示を行い、展示場所でも貸出手続きができるようにし、日常的に読書に親しめる環境づくりを行った。



10月～11月には読書の取組として、「絵本週間」を設定。実施後に行ったアンケートでは、「感動した」、「心が落ち着く」や「あらためて新しい発見があった」等の回答があった。



保健室前にも絵本コーナー

## (2) 学校図書館の授業活用

### ア 読書感想文指導

7月、各学年に「夏休みに読んでほしいおすすめの本」のブックトークを行う。また、読書感想文のための資料を作成し、指導、配布を行った。



夏休み中の職員室前おすすめ図書は恒例に

### イ 各教科、総合的な学習の時間での調べ学習

- ・総合的な学習の時間・伊根学：資料貸出
- ・国語科：古典、レポート作成時の資料貸出
- ・理科：京都府立図書館からの学校セット貸出



学校セット貸出

調べ学習の発表

## (3) 子どもの読書活動に対する指導

おすすめ図書の紹介や移動図書等の取組を行う。おすすめ図書は、教師・生徒両者からの推薦図書を紹介し、より多くの分野の図書に興味を持たせる展示の工夫を行った。



様々なジャンルの本を読む  
〔challenge 読書〕

特別授業に合わせたコーナー

生徒による「読んでほしい一冊の本」

図書委員おすすめ絵本

## (4) その他

### ア 公立図書館等との連携

教科(理科)の調べ学習等で、府立図書館や伊根町ほっと館図書情報室と連携を図り、学校貸出を活用して資料の収集や準備・利用指導等の支援も行う。伊根町ほっと館図書情報室とは、年間を通じて特別支援学級に設置する本の選定・貸出連携を行い、絵本の取組の際にも連携を図った。

## イ 教職員研修

全体研修、伝達講習等は実施できなかったが、府立図書館において行われた図書館教育のセンター研修「調べ学習を支援する学習センターとしての図書室の在り方」での演習内容を理科の授業で実践できた。その際、資料の活用についての指導補助を行った。



## ウ 小学校との連携、運営補助

校区内の2小学校で7月「夏休みにたくさん本を読もう・課題図書」、12月「冬休みにたくさん本を読もう」をテーマに読み聞かせ、ブックトークの活動を行う。その際には、中学校図書室の本の小学校貸し出し、図書だよりの配布等も行った。



図書委員がしおりプレゼント



「ほんのおたより」



低学年



高学年



## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ア 古い図書の廃棄や図書台帳の整備等、図書室の整備を進め、配架や展示、校内掲示等の工夫により、読書センターとしての機能が充実した。
- イ 読書指導だけでなく、教科指導の支援を行い、府立図書館等とも連携を図ることで、学習センターとしての機能も果たすことができた。
- ウ 中学校内だけの活動だけでなく、読み聞かせやブックトーク、図書だよりの作成・配付、図書の貸出等、小学校との連携を図った取組を推進できた。
- エ 展示や貸出の場所を廊下にも設置し、レイアウトに工夫を凝らす等して、日常的に図書に触れる機会を設け、読書活動の推進を図れた。
- オ 図書だよりの発行、活字に触れるための新聞コーナーの設置、タイムリーな新刊本の購入ができた。

## (2) 課題

- ア 校内研修等により、教職員の意識向上を図り、授業や取組等での図書室の活用を充実させるとともに、継続させていくことが必要。
- イ 図書室及び図書台帳の整備を継続していきながら、電算化に向けた準備を進めていく必要がある。
- ウ 幅広い読書活動の充実（言語活動との関連、多様なジャンルの本を読む）を図るための横断的な計画や取組、実態把握などを進める必要がある。

### 図書室、掲示物など



### 伊根中図書だより



### 新聞を読もうコーナー

図書室入り口にオススメ記事を掲示



気になった記事に「いいね！」シールを貼る

